

経済・金融 フラッシュ

米7月ISM製造業指数は49.8 ～6月に続き連月の50割れに

経済調査部門 主任研究員 土肥原 晋
TEL:03-3512-1835 E-mail: doihara@nli-research.co.jp

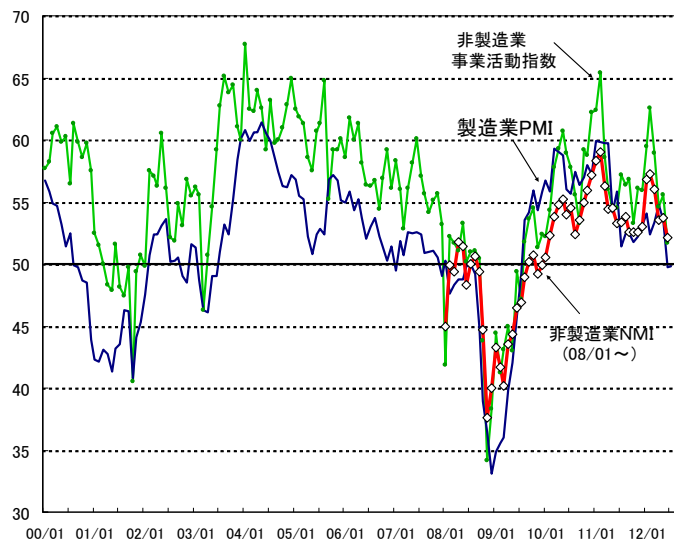
米7月ISM製造業指数は49.8と前月に続き50割れが続いた。同指数の50は製造業の拡大・縮小の分かれ目とされ、連月で製造業の減速が示された形となった。ISMでは、事業の減速と景気不透明感の強まりを懸念するコメントが多く見られたとしている。こうした先行きへの懸念は受注に影響が大きく、5月に60.1だった受注指数は48.0に、海外景気の悪化で輸出受注指数は46.5に、いずれも連月で50を割り込んでいる。なお、ISMでは過去のデータでみた7月PMIは実質GDPの年率2.4%に相当するとしており、現状はそれほど落ち込んだ状態ではない半面、欧州問題や財政の崖といった見通しのつきにくい要因によって米景気の先行き不透明感が増幅されるなど、減速状態からの浮上についても目途の立ちにくい状況が続いている。

1、ISM製造業指数は49.8と前月（49.7）並みの50割れの推移を持続

企業のセンチメントを示すISM（米供給管理協会）指数は、7月製造業指数（PMI）が49.8と前月（49.7）から0.1ポイント上昇、市場予想（50.2）を下回った。同指数は6月に2009年7月以来初めての50割れを示し、34ヵ月連続での50越えに終止符を打ったが、7月もほぼ同水準で50割れを持続した。

PMIは、金融危機後の2008年12月に33.1と近年の最低水準を記録した後、2009年8月には53.5と50台を回復、昨夏に景気への懸念が強まった時も7月の51.4をボトムに底堅く推移し、本年5月まで50台を維持していた。発表元のISMでは、「PMIは製造業の分かれ目となる50を下回ったものの、過去のデータから見たPMIが示す経済全体の分かれ目（GDPのゼロ成長）は42.6であり、7月PMIは実質GDPの年率2.4%に対応する水準」としている。

（図表1） ISM指数の推移（月別）



（資料）Institute for Supply Management、以下も同じ。

注：内訳は（図表2・3）を参照、7月非製造業指数は8/3発表予定

(各指数別の動向)

2、PMIの構成指数では、雇用指数が大幅な下落

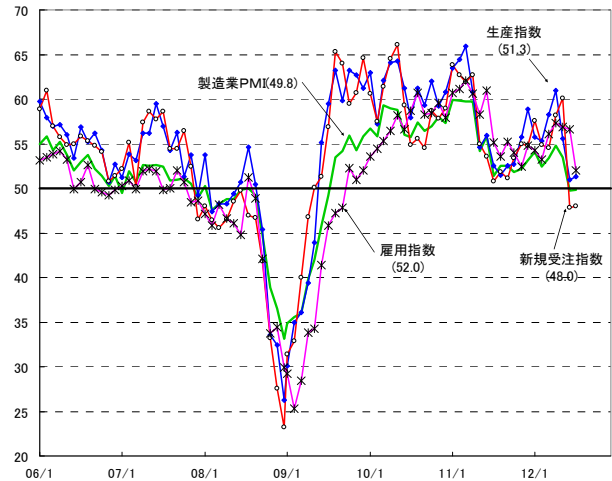
PMIの構成5指数(受注、生産、雇用、入荷遅延、在庫)の動きを見ると、主要な指数である新規受注指数が48.0(前月比0.2ポイント)、生産指数が51.3(同0.3ポイント)とそれぞれ若干の上昇を見せた。

そのほか、在庫指数が49.0と同5.0ポイントの大幅な上昇を見せた反面、雇用指数が52.0と同▲4.6ポイントの大幅な低下を見せ、在庫指数の上昇を相殺した。なお、入荷遅延は48.7と同▲0.2ポイントの小幅下落に留まった。

上記構成指数以外の5指数では、価格指数が39.5(同2.5ポイント)の上昇、顧客在庫指数が49.5と同1.0ポイント上昇した他は下落しており、中でも輸入指数が50.5(同▲3.0ポイント)と下落幅が大きかった。

米経済は、昨年も夏場にかけて軟弱な局面を迎えたが、PMIはかろうじて50台を維持した。その点、今年は連月の50割れとなり、中でも受注指数の低下は同指数が先行的な指標となることもあって気付きである。また、7月の雇用指数の低下が大きかった点についても、企業が雇用増の計画を縮小しつつあることを示すものとして警戒されよう。もっとも、雇用指数は7月も全指数のうち最高値を維持しており、50台もキープしている。現状水準で低下が留まるのであれば、雇用増は縮小しても雇用調整に動くほどの悪化を示しているわけではない。いずれにしても、景気の先行きには黄信号が灯りつつある。

(図表2) PMIと主要構成指数の推移(月別)



注：()内の数値は2012年7月値

(図表3) ISM指数：製造業各指数の推移

	製造業指数																				6-7月 変化幅
	10年 12月	11年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
PMI	57.3	59.9	59.8	59.7	59.7	54.2	55.8	51.4	52.5	52.5	51.8	52.2	53.1	54.1	52.4	53.4	54.8	53.5	49.7	49.8	0.1
新規受注	59.0	63.8	62.7	61.9	62.7	55.0	53.6	50.8	51.8	51.1	53.4	55.0	54.8	57.6	54.9	54.5	58.2	60.1	47.8	48.0	0.2
生産	60.8	63.5	64.4	65.9	60.8	54.6	55.9	52.5	51.5	52.5	52.7	55.7	58.9	55.7	55.3	58.3	61.0	55.6	51.0	51.3	0.3
雇用	57.9	60.7	61.1	62.1	60.6	58.3	61.0	55.1	53.6	55.2	54.0	52.4	54.8	54.3	53.2	56.1	57.3	56.9	56.6	52.0	▲4.6
入荷遅延	58.6	59.3	60.1	59.8	59.7	54.4	55.2	50.6	51.2	51.6	52.2	51.3	51.5	53.6	49.0	48.0	49.2	48.7	48.9	48.7	▲0.2
在庫	50.0	52.0	50.5	49.0	54.5	48.5	53.5	48.0	54.5	52.0	46.5	46.5	45.5	49.5	49.5	50.0	48.5	46.0	44.0	49.0	5.0
顧客在庫	40.0	45.5	40.0	39.5	40.5	39.5	47.0	44.0	46.5	49.0	43.5	50.0	42.5	47.5	46.0	44.5	45.5	43.5	48.5	49.5	1.0
価格	72.5	81.5	82.0	85.0	85.5	76.5	68.0	59.0	55.5	56.0	41.0	45.0	47.5	55.5	61.5	61.0	61.0	47.5	37.0	39.5	2.5
受注残高	47.0	58.0	59.0	52.5	61.0	50.5	49.0	45.0	46.0	41.5	47.5	45.0	48.0	52.5	52.0	52.5	49.5	47.0	44.5	43.0	▲1.5
輸出	54.5	62.0	62.5	56.0	62.0	55.0	53.5	54.0	50.5	53.5	50.0	52.0	53.0	55.0	59.5	54.0	59.0	53.5	47.5	46.5	▲1.0
輸入	50.5	55.0	55.0	56.5	55.5	54.5	51.0	53.5	55.5	54.5	49.5	49.0	54.0	52.5	54.0	53.5	53.5	53.5	53.5	50.5	▲3.0

(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。